

## 日 本 史

〔 I 〕 次の文章は、原始・古代の日本列島の様子を記述している。①～⑩の文章の下線部1～4のうち、誤っている記述の番号を解答欄I-Bに記入せよ。また、二重下線部あ～きについて、【設問あ】～【設問き】の解答を解答欄I-Aに漢字で記せ。(51点)

- ① 縄文時代の墓の規模や副葬品には大きな違いがなく、人々の明確な身分差は不明瞭な社会であったと考えられる。一部に、ヒスイ製の玉や青銅製の耳飾りなどの副葬品も確認される。また、貝輪や黒曜石のような広域の流通を示す資料も検出されている。
- ② 弥生時代の墓制には地域的特色があり、北部九州では四隅突出型墳丘墓や支石墓のような、朝鮮半島から流入した文化の特徴を示す墓も見られる。また、佐賀県の吉野ヶ里遺跡などでは、王と思われる人物の墳丘墓も見つまっている。
- ③ 古墳時代前期の古墳は、三角縁神獣鏡などの銅鏡や、打ち叩いて音を出す銅鐸など、呪術的な性格が想起される副葬品が多く、その被葬者も司祭的な性格を持っていたと考えられる。また、前方後円墳のような画一的な墳形が列島各地に広がり、墓制の地域性は弱くなる傾向が知られる。
- ④ 古墳時代中期には、古墳の規模は大きくなり、副葬品も青銅製の武器や武具、鉄製の馬具などが多量に副葬されるようになる。この時期、倭王武が宋に上表文を送り、自身の軍事にかかわる地位を求めたことが知られる。
- ⑤ 古墳時代中～後期以降、中小の古墳がまとまった群集墳が各地に造営される。それらの多くは、径が10m前後の円墳や方墳だが、中には八角墳なども確認できる。それまでの前方後円墳を築く王とは別の、新興の有力農民層が被葬者ではないかと考えられる。
- ⑥ ヤマト政権の支配下に入った各地の地方豪族は、姓とよばれる擬制的な同族集団を組織し、集団で政権に奉仕した。そのかわりに、田荘という田地、部曲や奴婢と呼ばれる農民や奴隷の支配を認められた。
- ⑦ ヤマト政権は、各地に屯倉や名代・子代を拡大し地方支配を強化した。その

中で、蘇我氏らの協力を得ながら、東漢氏や秦氏のような渡来人を重用し政治体制を確立していった。後の冠位十二階では、氏によって世襲される冠位が政権周辺豪族や地方豪族に与えられるようになった。

- ⑧ 飛鳥時代に入っても一部では古墳の造営が続いた。高松塚古墳の石室には、大陸の渤海や唐の影響を受けた男女官人の姿や星宿・四神が描かれた。また、キトラ古墳の石室にも、四神図や天文図がみられた。
- ⑨ 孝徳天皇の時代、政治方針を明確にした改新の詔が出された。この詔の内容として、近江への遷都、屯倉・田荘の廃止、地方行政区域の設定、戸籍・計帳の整備、班田収授と新しい税制（調）の実施、などが知られる。
- ⑩ 持統天皇は飛鳥浄御原令を制定し、これに基づいて50戸を1里とする庚午年籍をつくった。また、都市計画を新たに整備して遷都をおこなった。孫の文武天皇の時代に大宝律令が完成した。

【設問あ】この遺跡の北墳丘墓と呼ばれる墓は、弥生時代に特徴的な溝で周囲を囲まれる集落の北内側に築造されている。こうした集落形態の名称を記せ。

【設問い】平面積が世界最大の前方後円墳が含まれる古墳群の名称を記せ。

【設問う】こうした地方の豪族が当時の政権下で地方官として任命された職制の名称を記せ。

【設問え】蘇我氏の氏寺として、現在の明日香村に造営された寺院の名称を記せ。

【設問お】この古墳の築造や壁画制作がなされた時期に栄えた宮都の名称を記せ。

【設問か】改新を進める政権では、畿内と東国で人口と田地の調査をおこない、北陸に淳足柵や磐舟柵を築いた。斉明朝に、東国の秋田・津軽に派遣され、蝦夷を征討した越の国守は誰か。その人物名を記せ。

【設問き】藤原不比等らとともに、この律令の編纂に従事した天武天皇の皇子の名を記せ。

〔Ⅱ〕 室町・戦国期の一揆に関する（１）～（４）の史料の記事（原漢文）を読み、問いに答えよ。なお、〈 〉は史料原文に存在する注記で、直前の文章を補足するものである。「／」で区切られた前後は、同じ日記の別の日の記事であること

を示している。

(45点)

- (1) 今日山城国人集會す。〈上は六十歳、下は十五、六歳と云々。〉同じく一国中土民等群集す。今度兩陣時宜申し定めんがための故と云々。然るべきか。但し又下極上の至りなり。兩陣の返事、問答の様如何。未だ聞かず。／古市、山城より帰陣す。六十三日の在陣なり。筒井、同じく退散す。十市、同前。越智、同じ。兩陣の武家衆、各引退し了ぬ。山城一國中の国人等、申し合わす故なり。今より以後においては、兩畠山方は国中に入るべからず。本所領、共に各本のごとくたるべし。新関等一切これを立つべからずと云々。珍重のことなり。〔『大乘院寺社雜事記』。後半は前半の6日後の記事である〕
- (2) 山門諸勢京中に切り入り、日蓮衆廿一ヶ寺、そのほか下京悉く放火し、上京過半炎上す。日蓮衆そのほか雜人の打ち死に、その数を知らず。凡そ三千人計りは考ふるなり。そのほか際限を知らずと云々。〔『嚴助大僧正記』〕
- (3) 近日、四辺土民蜂起す。土一揆と号す。御徳政と称して借物を破り、少分をもって質物を押し請く。絳、江州より起こる。〈守護佐々木の六角、張行せしむ。〉(イ2)・三井寺辺、鳥羽・竹田・伏見・嵯峨・仁和寺・賀茂辺は物忝常篇に絶ゆ。今日法性寺辺このことあり。火災に及ぶ。侍所多勢を以て防戦するも、猶承引せず。土民数万の間、防ぎ得ずと云々。賀茂辺か、今夜時の声を揚ぐ。普広院殿初め比、去る(オ1)年中、このこと有り。已に洛中に及び了ぬ。その時、畠山(カ)たり。遊佐故河内守、出雲路において合戦し、静謐し了ぬ。今土民等代始めにこの沙汰、先例と称すと云々。〔『建内記』〕
- (4) 賀州土一揆蜂起し、富樫介の城を相困む。故を以て朝倉合力のこと、江州御所より仰せ付けられ、使節のこと、然るべき仁体これを書き立て、早々に進上すべきの由、仰せ出さる。／今晨、香嚴院において叔和西堂語りて云はく、今月五日、越前府中に行く。それ以前に越前の合力勢、賀州に赴く。然りと雖も一揆衆二十万人、富樫の城を取り回し、故を以て同九日城を攻め落とされ、皆生害す。しかるに富樫一家の者一人、これを取り立つ。〔『蔭涼軒日録』。後半は前半のおよそ1ヶ月後の記事である〕

〔語注〕張行：ものごとを強引におこなうこと。物忝：物騒。常篇に絶

ゆ：普通の状態から大きくかけ離れている異常なさまを示す。 静謐：平穏に治まること。

【設問 a】 下線部 a で集会について記されるこの国一揆に関する説明として、正しい文章の記号を全て示した選択肢を選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

(あ) 国一揆の集会の際には、国人たちだけでなく、地域住民も集まっていた。

(い) この国一揆で申し合わせた内容のなかには、新たな関所を設置することや、本所領を回復させることなどが含まれていた。

(う) 山城国全土に対する国一揆の支配は、こののち1世紀ほど続いた。

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1. (あ) ・ (い) ・ (う) | 2. (あ) ・ (い) |
| 3. (あ) ・ (う)       | 4. (い) ・ (う) |
| 5. (あ)             | 6. (い)       |
| 7. (う)             | 8. な し       |

【設問ア】 下線部アは、この時期に山城国で戦闘を繰り返していた畠山氏の両陣営を指す。畠山氏の家督争いの当事者二人のうち、応仁の乱で西軍方の主要武将の一人だった人物名を、解答欄Ⅱ－Aに漢字で記せ。

【設問 b】 下線部 b にみえる古市・筒井・十市・越智などの各氏は、興福寺が支配権を有していたある国の国人で、畠山氏の両陣営に属して山城国に出陣して戦闘をおこなっていた。この「ある国」にあたる国名を選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 伊 賀 | 2. 伊 勢 | 3. 紀 伊 | 4. 大 和 |
|--------|--------|--------|--------|

【設問イ】 下線部イ1は中世都市京都に大きな影響を与えた寺院である。東麓にあった空欄（イ2）は、その門前に展開し、かつ琵琶湖水運の物資の集散地として発展し、「山門」膝下の土倉が多く存在していた。空欄（イ2）にあてはまる語を、解答欄Ⅱ－Aに漢字で記せ。

【設問ウ】 当時、上京・下京には、都市民の自治的団体が多数生み出されつつあった。通りの両側を単位とすることの多かったこの自治的団体の名を、解答欄Ⅱ－Aに漢字で記せ。

【設問 c】 下線部 c の徳政一揆に関する説明として、正しい文章の記号を全て示した選択肢を選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- (あ) 徳政一揆が遠江国で発生して京都まで進撃してきたため、京郊の諸地域は大いに緊迫した。
- (い) このときの侍所が防戦にあたったが、一揆の軍勢が多すぎたために、京都の防衛に失敗した。
- (う) 結果的に幕府から徳政令が出されることとなったが、そこで破棄されたのは、御家人の債務だけであった。

- 1. (あ) ・ (い) ・ (う)                      2. (あ) ・ (い)
- 3. (あ) ・ (う)                                4. (い) ・ (う)
- 5. (あ)    6. (い)
- 7. (う)    8. な し

【設問エ】 下線部エは、多くの寺院が密集し、酒屋・土倉も存在していたことが確認できる洛外の有力都市であった。嵯峨の中心にあったのは、室町幕府の初代将軍がある天皇の冥福を祈って建立した五山寺院であったが、この天皇名を解答欄Ⅱ－Aに漢字で記せ。

【設問 d】 下線部 d は、有力守護である赤松氏によって殺害された将軍である。この人物の将軍在位期に起こった出来事として適切なものを下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- 1. 永享の乱                                      2. 享徳の乱
- 3. 上杉禅秀の乱                                4. 応永の乱

【設問オ】 空欄（オ1）には、下線部オ2の出来事が発生した時期の年号が入る。その年号を解答欄Ⅱ－Aに漢字で記せ。

【設問カ】 空欄（カ）には、室町幕府のなかで将軍を補佐し、政務を統括した役職の名が入る。当てはまる語を解答欄Ⅱ－Aに漢字で記せ。

【設問 e】 下線部 e の一揆には、ある宗派の門徒集団が大きく関わっていた。この宗派に関する説明として、正しい文章の記号を全て示した選択肢を選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- (あ) 阿弥陀仏を信じれば極楽往生できることを平易な文章で説いたことも

あって、この宗派は近畿・東海・北陸などに広まっていた。

(い) この宗派の僧侶として、他宗と激しい論戦をおこない、迫害された日親が有名である。

(う) この宗派の勢力が強い地域では、寺院・道場を中心にして寺内町が形成された。越前国吉崎・山城国山科・河内国富田林などが有名である。

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1. (あ)・(い)・(う) | 2. (あ)・(い) |
| 3. (あ)・(う)     | 4. (い)・(う) |
| 5. (あ)         | 6. (い)     |
| 7. (う)         | 8. なし      |

【設問 f】 下線部 f の家は、分国法的な規程を含む家訓「朝倉孝景条々」で知られている。この「朝倉孝景条々」に含まれる内容として知られるものを選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 喧嘩をおこなった者は、理非にかかわらず、両方ともに処罰する。
2. 朝倉氏当主の居館以外に、国内で城郭を構えることを禁じる。
3. 本所領の半分は、兵糧料所として軍勢に預け置く。
4. 領主への年貢を納入しないまま他領へ移った百姓は処罰する。

【設問キ】 下線部キは、足利義政と日野富子の間に生まれ、このとき將軍職にあった人物である。この人物名を解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問 g】 (1)～(4)の四つの出来事と、足利義昭上洛・將軍任官、応仁の乱、嘉吉の変という三つの出来事を合わせて時系列順に並べた際に、古い方から①三番目に来るものと、②六番目に来るものをそれぞれ選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

- |                |         |
|----------------|---------|
| 1. (1)         | 2. (2)  |
| 3. (3)         | 4. (4)  |
| 5. 足利義昭上洛・將軍任官 | 6. 応仁の乱 |
| 7. 嘉吉の変        |         |

〔Ⅲ〕 明治期のメディアについての国文学者・前田愛と社会学者・加藤秀俊の対談

を読み、【設問 a】～【設問 r】に答えよ。(54点)

前田 [愛] [中略] 宮武外骨が、日本の新聞は ( b ) と西洋のニューズペーパーが合体してできたものだと書いていますが、たしかにそうです。( b ) とか落首、落書、檄文などのさまざまな江戸のコミュニケーション形態があって、それにヨーロッパの新聞が合体した不思議な形が明治の新聞ではなかったか。[中略] その点から見ると、維新以前のコミュニケーション伝統と西洋のニューズペーパーの接合がどういうふうに行なわれたのかが興味のあるところで、それを日本の近代の新聞で考えてみる必要があるだろうと思っています。

加藤 [秀俊] その二つの混合比のちがいが、のちに大新聞と小新聞とをつくっていくのかもしれない。江戸の伝統をひいたのがどちらかというと小新聞になって、西洋の新聞にならってつくられていくのが大新聞。そういう言い方はできないかしら。

前田 そうですね……。大新聞のほうは士大夫の伝統、つまり上書とか意見書とかのコミュニケーションのスタイルで、小新聞のほうは ( b ) とか落首の伝統をひく形ですね。近世的なコミュニケーション形式のそういう違いが、大新聞と小新聞に流れ込んだと、僕は考えています。

加藤 エリートの新聞とマス新聞ということかもしれませんが、ここで最初の話にもどりますと、明治政府は讒謗律や新聞紙条例を出して言論を弾圧する一方で、国家権力で新聞を普及させようとしているんですね。各県の県令に通達を出して、人びとが新聞を買うようにすすめている。新聞というものをあそこまで全国津々浦々にまで浸透させようとした政府というのは、ちょっとないのじゃないですか。

前田 [中略] たしかに明治新政府は、王政復古の意図や文明開化の効用をなんとか下のほうまで浸透させようとして、いろいろな努力をはらっています。僕がそのなかでも注目したいのは、これまであ

まり指摘されていませんが、教部省による説教というものです。教導職というものを考え出して、全国の神官、僧侶から講釈師や噺家まで動員して、「三条の教憲」にもとづく国民教化政策をとるわけですね。教導職<sup>h</sup>を通じて、王政復古のイデオロギーとか文明<sup>i</sup>開化の効用を、下々の者に説ききかせる。[中略]

加藤 新聞紙で伝えられることと、神官や僧侶の口で伝えられることとのあいだに、内容のずれはありますか。

前田 僧侶あるいは神官が一つのフィルターになって、当然ずれが出ただろうと思います。僧侶の場合ですと、あのころは廢仏毀釈でひどい目にあっているわけですから、「三条の教憲」の説教をよそおって、実は真宗なら真宗の教義を民衆に説くという歪みもあったでしょうし、神官の場合ですと当時は平田国学が全盛ですから、「島崎 藤村の『夜明け前』の青山半蔵<sup>k</sup>がいい例で、基本的には排<sup>l</sup>外主義です。[中略]

前田 新聞というのはごく限られたエリート中心、あるいは都市中心ですね。しかしその新聞に付随して、オーラルの機関がいろいろある。明治のはじめには新聞解話会というのがたくさんできています。自主的につくられたものもあるし、政府が組織させたものも多少あったと思います。それから、新聞縦覧所というのもあった。典型的な例は仮名垣魯文が明治五年横浜の野毛に開いた窟螻蟻庵<sup>m</sup>ですが、そこでは新聞を見せるだけでなく茶の接待もした。ヨーロッパのコーヒー店と同じなんですね。( n )の『舞姫』で主人公太田豊太郎がコーヒー店に入って日本へ通信を書いていますけれども、そういう店ではコーヒーをのませるだけでなく新聞をたくさん備えていて、それを勝手に見ていいようになっている。[中略]

加藤 [中略] 今日でも大学周辺の喫茶店は新聞縦覧所のような感じがしますよ。棚に朝日とか毎日とか店のスタンプを押した新聞が置<sup>o</sup>いてあって、学生が読んでいる。[中略]

- 加藤 [新聞] 販売のシステムもいまとはちがいますね。
- 前田 [中略] ( b ) は街頭の立売りと別に絵草紙屋でも売られたそうですが、小新聞も同じように絵草紙屋<sup>p</sup>で売られたケースがあるのじゃないか。
- 加藤 東京土産に錦絵と新聞を買っていったという話もありますからね。  
[中略]<sup>q</sup>
- 加藤 [中略] 明治二十年ごろという時点で日本の新聞界の鳥瞰図をつくってみれば、[中略] 各地に有力新聞があって、それぞれが地方文化を担っていた。まさしく新聞乱立時代でしょう。ところが明治三十年代に入ると鉄道が日本全国を貫通するようになり、電信が普及するわけで、そのころから<sup>r</sup>いわゆる中央紙が芽をふきはじめて、大正、昭和になるとすっかり様相が変わってしまう。しかも第二次大戦後はファクシミリの登場で、厳密な意味の全国紙ができあがってくる。

出典：加藤秀俊・前田愛『明治メディア考』（河出書房新社）

出題のため、一部表現をあらためた箇所がある。また、[ ] は、原典にない注釈を示す。

【設問 a】日本における最初の近代的な日刊新聞は、1870年に創刊された。その新聞は従来の木版印刷ではなく、洋紙に金属活字で印刷したもので、一枚両面刷りで発刊された。この新聞の名称はなにか。下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1. 『朝野新聞』   | 2. 『万朝報』  |
| 3. 『横浜毎日新聞』 | 4. 『時事新報』 |

【設問 b】空欄 ( b ) には、江戸期に街頭で読み売られたニュース性のある事柄を内容とし、古くは「よみうり」とも称された印刷物の名称が入る。その名称を解答欄Ⅲ－Aに漢字2字で記せ。

【設問 c】「檄文」とは、他者の悪い部分を攻撃し、自らのよいところを称揚し、ともに立ち上がろうと人々に呼びかける文書を指す。江戸期では、天保の飢饉での幕府の政策に不満を持った元大坂町奉行所与力で陽明学者であった人

物による「四海困窮せば、天禄永絶えん、小人に国家を治しめば、災害並到る」ではじまる檄文がよく知られている。その人物は誰か。下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 生田万
2. 渡辺崋山
3. 大塩平八郎
4. 大原幽学

【設問 d】「江戸のコミュニケーション形態」には、ここで挙げられているような民衆が発信したものだけではなく、幕府など公権力から民衆に向けて何かを伝えるための形態も含められるが、そうしたコミュニケーション形態の代表が町触である。都市・江戸の場合は、町奉行が出した町触は、町役人の筆頭役職者によって伝達された。その町役人は、世襲で役職を務め、町名主や月行事といった役人の上に立った。江戸におけるその役職名を何というか。解答欄Ⅲ－Aに漢字3字で記せ。

【設問 e】「大新聞」のひとつで1872年に創刊された『郵便報知新聞』は、その前年に郵便事業を創始し、駅逓頭を務めていた官僚を中心に発刊された。この官僚は誰か。下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 副島種臣
2. 前島密
3. 五代友厚
4. 後藤新平

【設問 f】「小新聞」のひとつで、1874年に創刊され、平仮名を主に使った口語体で、漢字にはよみがなを振り、芸能やゴシップ記事を多く掲載することで庶民を中心に人気を博した新聞は、後に硯友社系の作家が多く執筆したことから「文学新聞」とも呼ばれるようになる。この新聞の名前は何か。解答欄Ⅲ－Aに漢字4字で記せ。

【設問 g】駐米代理公使であった森有礼は、日本にも米国の学会のような組織が必要と考えて、1873年に帰国した後に西村茂樹に相談して人選し、ある学術団体を発足させた。この団体は、月2回の集会と機関誌の発行によって啓蒙活動に務めたが、1875年、讒謗律や新聞紙条例が発令されると、その禁令にふれるおそれがあるという理由で機関誌は終刊となった。この団体の名称を、解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

【設問 h】「三条の教憲（教則）」とは、「敬神愛国ノ旨ヲ体スヘキ事」「天理人道ヲ明ニスヘキ事」「皇上ヲ奉戴シ朝旨ヲ遵守セシムヘキ事」からなる近代天皇制国家の宗教的、政治的イデオロギーを明確に示したものであるが、その背

景にあったのが神道国教化の推進であった。その国教化の方針を表明した詔勅は  の詔と呼ばれる。空欄にあてはまる語句を解答欄Ⅲ－Aに漢字4字で記せ。

【設問 i】「文明開化」に関係するさまざまな事柄のなかで、1872年に行われたものではないものは以下のうちどれか。下記から1つ選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 学制の公布
2. 太陰太陽暦の廃止
3. 新橋～横浜間の鉄道開通
4. 東京大学の創設

【設問 j】「廃仏毀釈」を巻き起こすことになった法令を総称して何というか。解答欄Ⅲ－Aに漢字5字で記せ。

【設問 k】「平田国学」とは、復古主義、国粹主義を軸として武士から農村有力者にまで支持され、尊王攘夷運動を支えた平田篤胤の思想をいう。平田は、本居宣長が大成した、<sup>かんながら</sup>惟神の道の復活を説いた神道の学問・信仰・運動を受け継いでいた。本居や平田らの唱えた神道は  神道とされている。空欄にあてはまる語句を解答欄Ⅲ－Aに漢字2字で記せ。

【設問 l】島崎藤村が北村透谷らとともに1893年に創刊した月刊文芸誌で、ロマン主義文学の牙城となった雑誌を何というか。下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 『明星』
2. 『文学界』
3. 『我楽多文庫』
4. 『ホトトギス』

【設問 m】仮名垣魯文もその系譜に連なる、江戸期にはじまった娯楽を主な目的とした通俗文学は、総称して  文学とされている。空欄にあてはまる語句を、解答欄Ⅲ－Aに漢字2字で記せ。

【設問 n】空欄（ n ）には、『舞姫』を書いた作家で、陸軍軍医総監も務めた人物名が入る。その人物名を下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 夏目漱石
2. 尾崎紅葉
3. 森鷗外
4. 坪内逍遙

【設問 o】もともと1879年に大阪で創刊した『朝日新聞』は、1889年には東京に進出して『東京朝日新聞』を発刊する。1907年に第一高等学校と東京帝国大

学の講師の職を辞して、『東京朝日新聞』に専属作家として入社し、第一作として『虞美人草』を連載した作家は誰か。下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 夏目漱石
2. 尾崎紅葉
3. 森鷗外
4. 坪内逍遙

【設問 p】 絵草紙屋は、「地本  」とも呼ばれ、娯楽を目的とした絵入りの書物や錦絵を出版・販売していた本屋のことである。空欄には、一般に生産者などと仲買などとの仲介をした商業組織の名称が入る。その名称を解答欄Ⅲ－Aに漢字2字で記せ。

【設問 q】 「錦絵」とは、木版多色刷りで制作された浮世絵で、18世紀後半から明治期にかけて流通した印刷物を指す。錦絵の創始者と見なされる絵師は誰か。下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 鳥居清長
2. 喜多川歌麿
3. 勝川春潮
4. 鈴木春信

【設問 r】 日本の近代化においては、欧米から導入された、遠隔地をつなぐさまざまな技術や制度が大きな役割を果たした。それらを、日本で利用可能になった年代順に並べたものを下記から選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 鉄道→郵便→電信
2. 郵便→電信→鉄道
3. 電信→郵便→鉄道
4. 郵便→鉄道→電信